

加古川てらこやプロジェクト

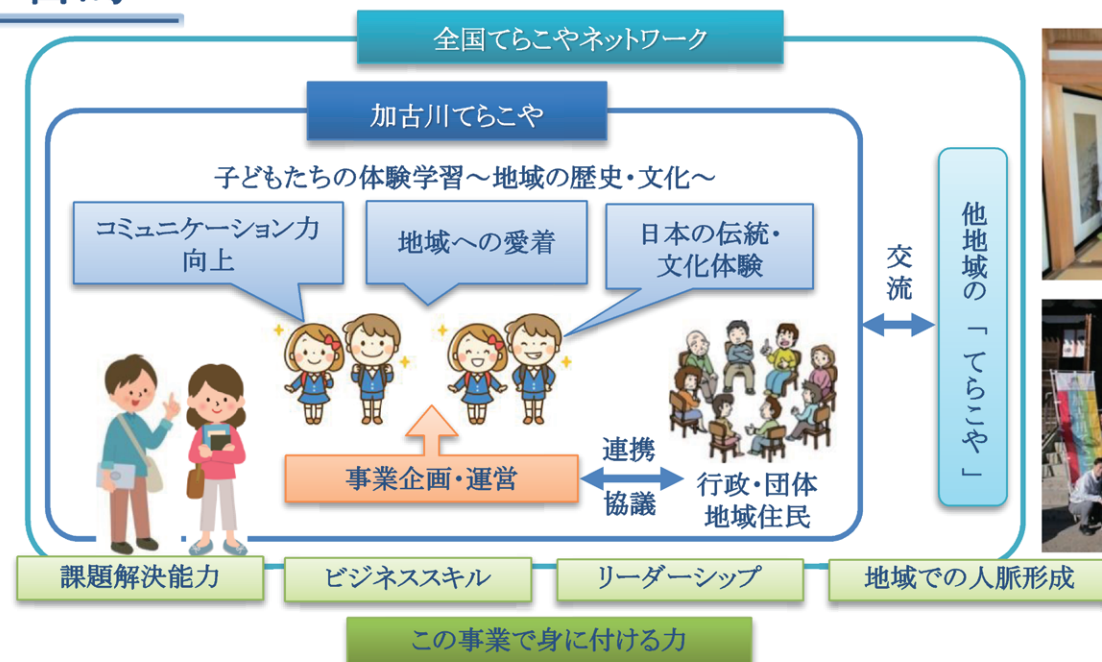
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科
榎木 浩 教授

【協力先】

特定非営利活動団体 加古川てらこや

内橋舞雪（3年） 岡川大地（3年） 北川貴大（3年）
清水風馬（3年） 竹原悠希（3年） 吉川瑞姫（3年）
デイ・ザイラ・メイ（3年） 浜崎幹也（3年）

目的



事業内容

- 1) 「Let's 修行体験 in 鶴林寺 ～みんなとの絆を深めよう！～」(8月 鶴林寺)
地域のこども達のコミュニケーション能力向上、地域への愛着、仏教や日本文化に触れその素晴らしさを感じることを目的に、本堂での座禅や茶道の体験、精進料理(お粥)、鶴林寺境内でのスタンプラリーを実施。
- 2) 「親子deなぞときアドベンチャー」(11月 日岡山公園)
子供たちが外で遊ぶ楽しさや自然への興味をもち、親子の絆を深め、地域の歴史や文化を理解してもらうことを目的に、「親子deなぞときアドベンチャー！」を運営。
- 3) 「Let's 文化体験 in 鶴林寺 ～みんなとの絆を深めよう！～」(1月 鶴林寺)
8月同様の目的で、新年に相応しい餅つきやことわざカルタ、冬の本堂での座禅、精進料理(お雑煮と七草粥)を体験。



【スケジュール】

事業計画

事業準備

当日運営

事業報告

【役割】

加古川てらこや理事会

加古川てらこや理事会

代表・副代表

事業企画

財務・購買

広報・営業

- ・ 事業計画書・報告書
- ・ 進捗管理
- ・ 連携先との交渉・調整

- ・ イベント内容の検討
- ・ タイムスケジュール作成
- ・ スタッフの役割決定

- ・ 財務各種資料の作成
- ・ 購買業務

- ・ 広報物作成と配布
- ・ 後援申請
- ・ 参加者対応
- ・ 当日の配布物等作成

さまざまな授業で修得した知識の活用(経営、会計、ビジネス実務、情報デザイン等)

当日の様子

「Let's 修行体験 in 鶴林寺」には56人、「親子deなぞときアドベンチャー」には42組142名、「Let's 文化体験 in 鶴林寺」には50名の小学生が集いました。どの事業も小学生からは、「楽しかった」、「また来たい」といった前向きな感想をもらえて、子どもたちにとって本当に有意義な体験ができたと思います。



ふりかえり～教育の成果と学生の成長～

このプロジェクトでは、学生が社会で通用する即戦力をもつ人材へと成長することを目標にしています。今回の3つの事業を通じて次の点で学生が成長したと感じています。

【地域の文化・歴史】

- 地元地域資源の新たな発見とその活用方法の修得

【ビジネススキル・マネジメント】

- ホウ・レン・ソウや、アポ取りなどを通じた社会人としての基本的マナーの修得
- 事業計画書、事業報告書の作成を通じたビジネス文書作成力の向上
- 理事会形式による議事決定プロセスの修得
- 進捗管理、業務配分、人員配置などの重要性認識
- 業務のコーディネーションとコラボレーション

今後は、より多くの学生の関わりとてらこや活動の広がり、地域での「加古川てらこや」の知名度向上と地域総掛けで子どもたちを見守る環境作り、さらには全国組織との連携と加古川ならではのてらこや活動を推めていきます。

